

「仙北市の目指すべき教育の姿と学校のあり方」に関するアンケート結果（概要）

市民編

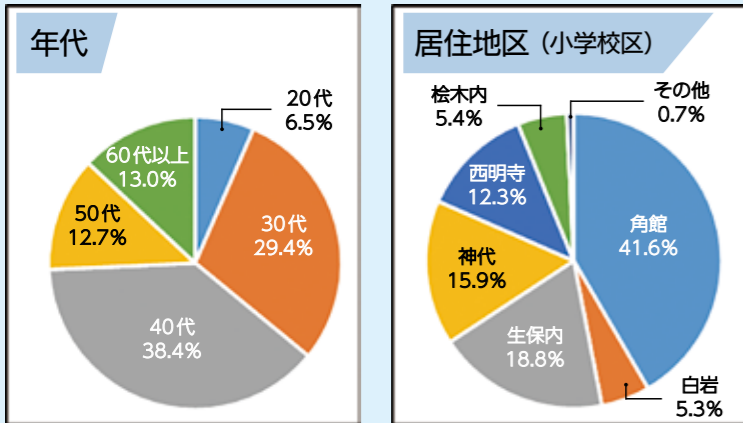
問合せ 仙北市教育委員会 学校適正配置準備室（西木庁舎） ☎43-3381

◆調査対象【回収数／配布数（回収率）】

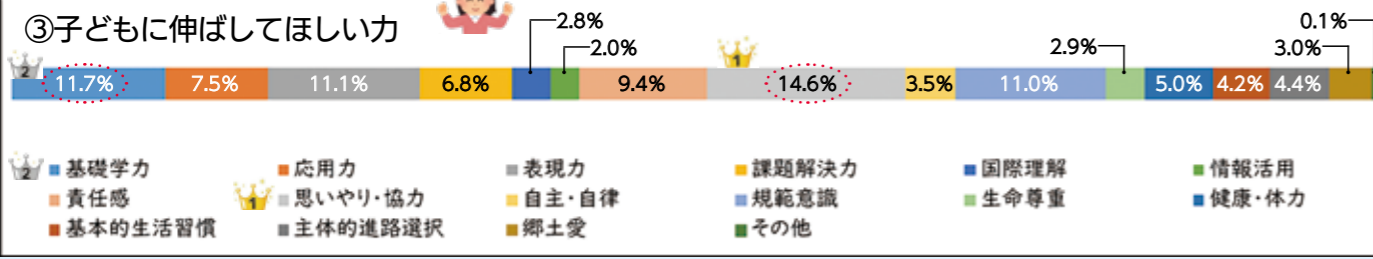
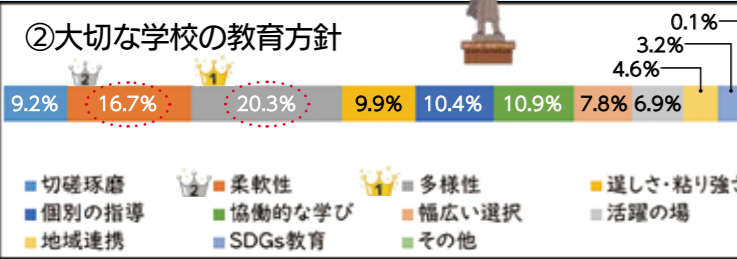
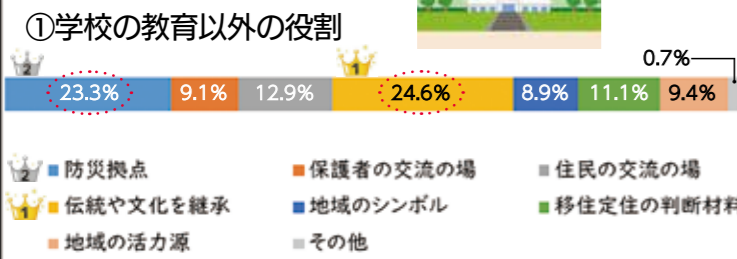
- ・22歳以上75歳未満の市民【456／1,000（45.6%）】
- ・中学生までの子をもつ保護者【1,067／1,311（81.4%）】

◆調査期間

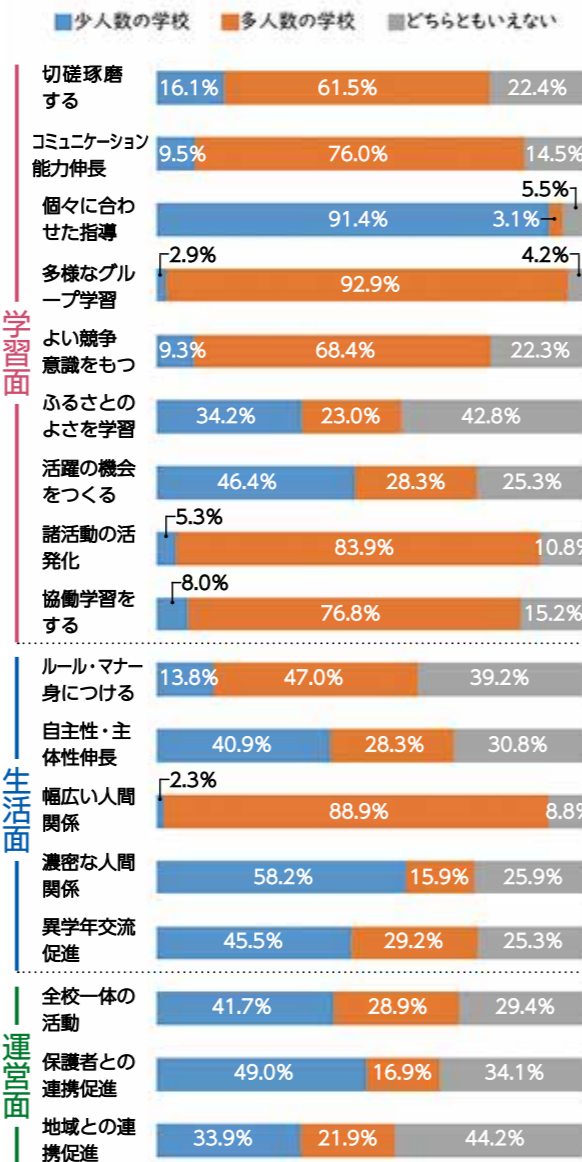
・10月7日～20日



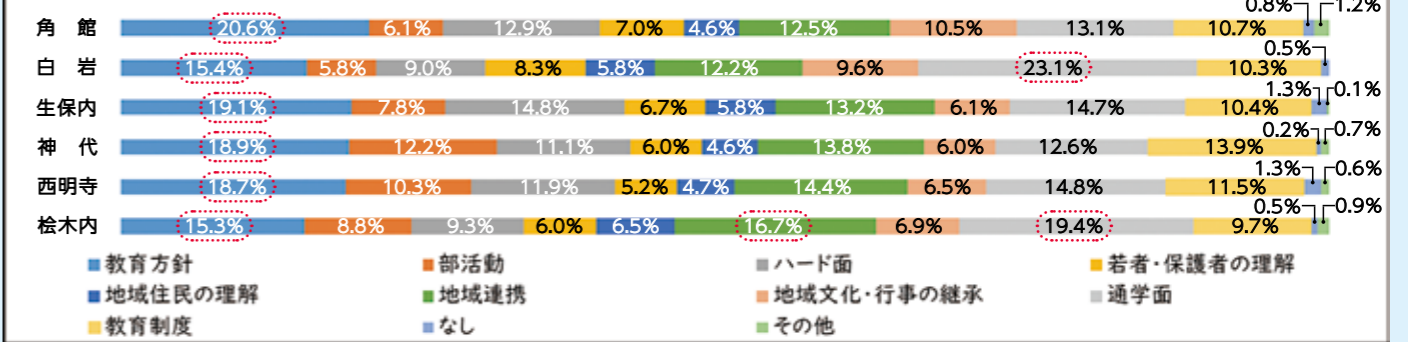
①～④は、どの地区の割合も同じ傾向でした。



④より効果が期待されるのはどちらか



⑤今後の教育環境を考えると、配慮すべきこと



児童生徒編

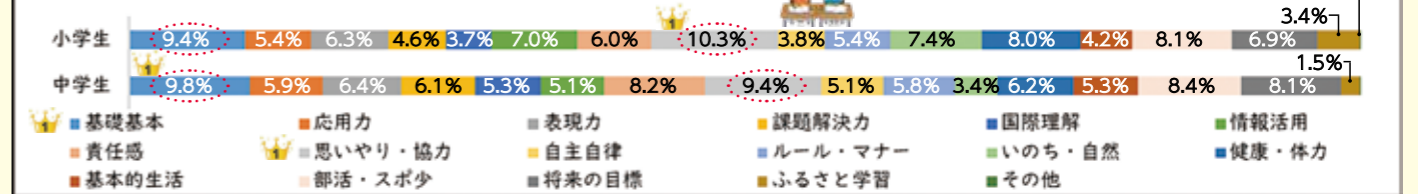
◆調査対象【回収数／配布数（回収率）】

・小学校5・6年、中学校全学年【847／888（95.4%）】

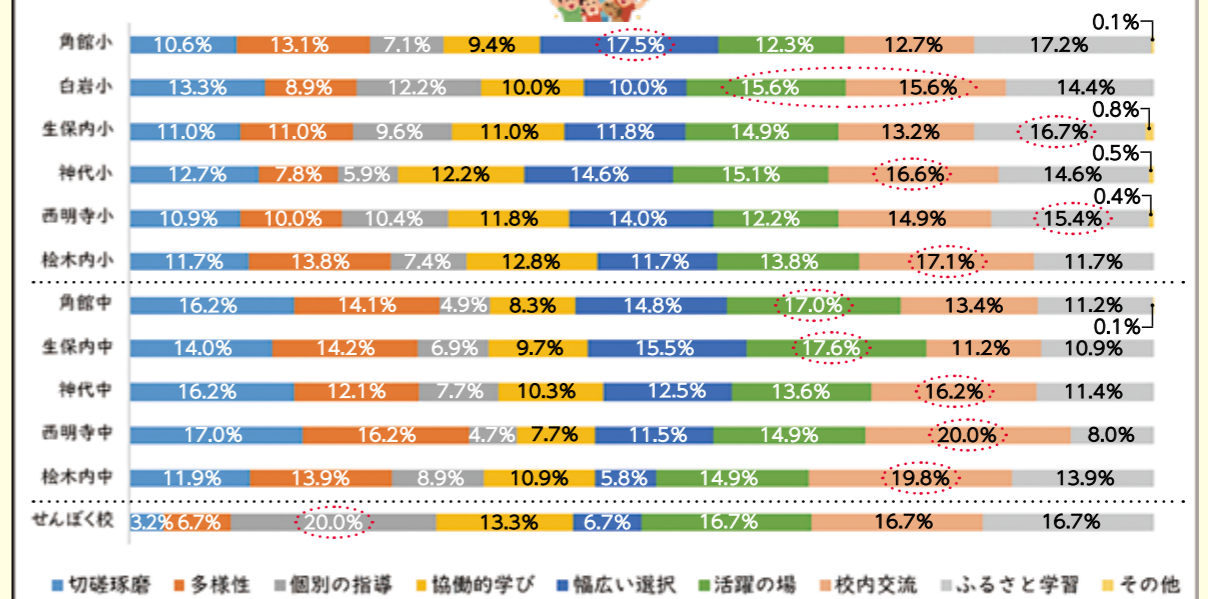
◆調査期間

・10月7日～26日

①身につけたいこと、がんばりたいこと（小中別）



②自分の学校の「よいと思うこと」



・詳細なアンケート結果
・学校適正配置検討委員会
の会議録（要旨）
こちらから↓



第2回学校適正配置検討委員会を開催

問合せ／仙北市教育委員会 学校適正配置準備室（西木庁舎） ☎43-3381

11月29日に、今年度2回目の検討委員会が開催され、将来に望まれる学校のあり方について様々な視点から検討が行われました。検討会では、10月に実施した「仙北市の目指すべき教育の姿と学校のあり方」に関わるアンケート結果を踏まえながら、教育委員会が年度内に策定する「学校適正配置方針（仙北市が目指す学校像）」の素案について、意見を交わしました。

主な検討内容・意見

- ◆アンケート結果では、市民も児童生徒も「思いやり・協力」の割合が高い。「自他の心や個性を大切に教育」という視点が、今後重要である。
- ◆児童生徒数の減少は深刻な問題である。これについて、多くの人に関心と危機感をもってもらい、みんなで議論を進める必要がある。
- ◆今年度策定する方針は、仙北市の実情を踏まえ今の時代にあったものにするべき。前例にとらわれず、新たな学校モデルを検討してはどうか。

